

文豪の足跡 町おこしに

「漱石ロード活性化会議」きょう発足

夏目漱石(1867〜1916)が大学生時代に訪れた岡山市東区金田地区の住民らが、文豪の足跡を残し、町おこしに「なげよう」と動き始めた。代表作「こころ」の連載開始100年を迎え、漱石に注目が集まるなか、住民らは23日に知名度アップへの戦略を練る「漱石ロード活性化会議」を発足させる。

岡山・金田地区

漱石が岡山を訪れたのは、帝国大学在学中の1892(明治25)年7月から8月にかけての約1カ月間。まず、亡くなった兄の元妻、小勝の再婚祝いのために、金田地区にある再婚先の岸本家を3泊4日で訪れたという。近くの浜へ出かけた漱石が、ハマグリをふんどしに包んで素っ裸で帰ってきたという豪快な逸話も残っている。

その後、市中心部の小勝の実家へ。ここに滞在中、親友・正岡子規の落第の報を受け、数日後には大洪水にも見舞われた。漱石は子規に宛てた手紙の中で、「岡山の洪水、また、平凸凹(漱石のペンネーム)一生の大波乱というべし」などと書き記している。15年ほど前から漱石の足

取りを調べているのが、郷土史に詳しい岡山市中区の医師横山俊之さん(57)。岸本家から浜までの約1.3キロを「金田村漱石ロード」と名付け、2012年に著書「岡山の夏目金之助(漱石)」で発表した。「歓待を受けた金田での体験が岡山における楽しかった思い出として残ったのではないか」と推測する。

食べ歩きイベントも企画

食べた料理を再現した「漱石ロード弁当」を作った。23日は同会議の発足式のほか、地元公民館主催で、漱石の足跡をたどるイベント「夏目漱石ロードを歩こう！」が開かれる。参加者はチヌの笹蒸しやハマグリをつくだ煮などが入った「漱石ロード弁当」を食べ、小泉醤油店の醤油を使って開発したマドレーヌを試食する。すでに40人以上の応募者があり、23日については募集を締め切っているが、今後も同様の取り組みを続ける予定だ。

将来は、漱石ロードに観光拠点を設け、弁当や和菓子など地元企業の商品を売り出すことを考えているという。小泉さんは「漱石への関心が高まっている今年是好機。全国からお客さんが訪れる場所にするのが夢」と話している。

(定塚 速)



「金田村漱石ロード」を通した活性化に取り組む小泉真さん＝岡山市東区金田

2016年(平成28年)6月17日 金曜日 岡山 26

岡山市民版

漱石没後100年

命日(9月)にフォーラム 滞在の金田地区民ら決定

夏目漱石(1867〜1916)の没後100年に合わせ、ゆかりの地をPRしようと、岡山市東区金田地区の住民らでつくる「漱石フォーラム2016」の準備委員会は16日、上南公民館(同君津)で本年度初会合を開き、

同日フォーラムを命日の12月9日に行うことを決めた。同準備委によると、漱石は1892年7月に、亡き兄の妻だった小勝の再婚を祝うため岡山市を訪れ、小勝の実家(北区山下)に約1カ月滞在。嫁ぎ先の岸本家(東区金田)に寄った際、吉井川河口でハンギリ拾いをした逸話などが残る。

この日の会合には会員15人のうち西大寺観光協会や上南公民館の代表ら7人が出席。同フォーラムは同公民館で開催し、漱石を研究している有識者の講演などを予定▽関連イベントとして11月3日に、漱石が岡山訪問の際に降り立った旧三幡港(中区江並)や岸本地区の方に漱石との縁を盛り上げていきたいと話した。(高橋由大)

「漱石フォーラム2016」の12月9日開催を決めた準備委のメンバー

県内を主会場に中国5県で開催される全国高校総体(インターハイ)7月28日開幕をPRするのぼり旗76本が、岡山市北区の奉還町商店街に飾られている。桃太郎やインターハイのキャラクターをデザインしたものには「よこそ岡山市へ」と歓迎メッセージを記した。もう一方は市内で開かれる陸上競技、バドミントン、剣道の3競技をマスコットキャラクター「ウイニング」がプレーアウト

のぼり旗でPR

奉還町商店街 高校生と店主飾る

全国高校総体をPRするのぼり旗を飾る岡山工業高校の生徒たち=1日

山陽新聞デジタル <http://www.sanyonews.jp>

2016年6月17日(金) 山陽新聞

東区 まちづくりレポート

4区のニュースを月替わりでお伝えします

文学に触れながら ～上南の「かなだ」を歩こう～

▲上南公民館 ☎086-948-3352

東区の上南地区(開成、政田学区)には、夏目漱石が、義姉小勝さんの結婚祝いを届けるために訪れた「金田」という地区があります。漱石没後100年目の命日である平成28年12月9日に「第1回漱石フォーラムin上南」を上南公民館で開催し、4回目からは、漱石が歩いたであろう金田地区に残る旧醤油蔵ホールに舞台を移して開催しており、今年10月30日には6回目のフォーラムを予定しています。

文豪の足跡にちなんだ漱石ロードには、「岡山歴史のまちしるべ」漱石と義姉小勝の説明看板二基と、漱石が岡山から松山の正岡子規宛てに出した手紙にある「鳴くならば満月になげほととぎす」の句碑が建立されています。

漱石ロードを巡るウォーキングやサイクリング大会も回数を重ね、地域のイベントとして定着してきました。令和3年3月から旧醤油蔵ホールで2カ月に1回開催される「漱石ロードプチマルシェ」も、多くの人々が地域内外から集う場となりました。

近くには川柳界の与謝野晶子とたたえられた時実新子生誕地や古民家カフェ、いちご園カフェもあります。若き日の漱石を思い浮かべながら歩いていただきお腹も満たしていただくのも楽しいかと…。

▲漱石フォーラムin上南 ▲漱石ロードプチマルシェ

2022年7月号 市民のひろばおかやま

蔵 日乃出醤油小泉醸造元

漱石ロード プチマルシェ

7.16 土 PM4:00 ~ PM9:00

夏目漱石金田訪問130年目の夜

夕涼み会

【日乃出醤油小泉醸造元】
〒704-8196
岡山市東区金田1901
TEL.086-948-2352
公式Instagram
@koizumi_hinode_shoyu1878

イベント情報はInstagramで確認ください

Instagram: KOIZUMI_HINODE_SHOYU1878

2022年7月16日(土)

漱石ロードプチマルシェのちらし